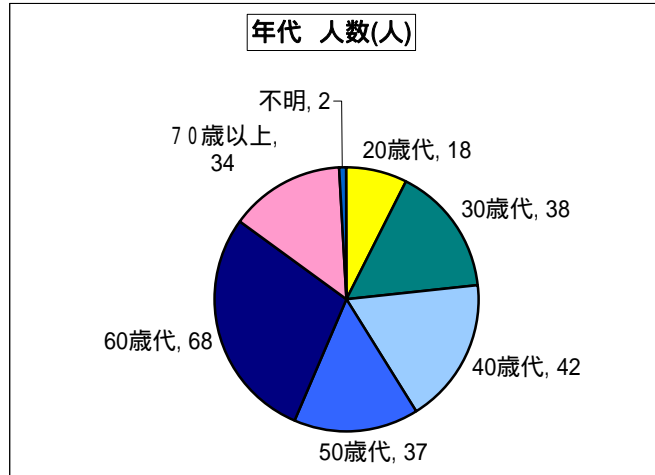
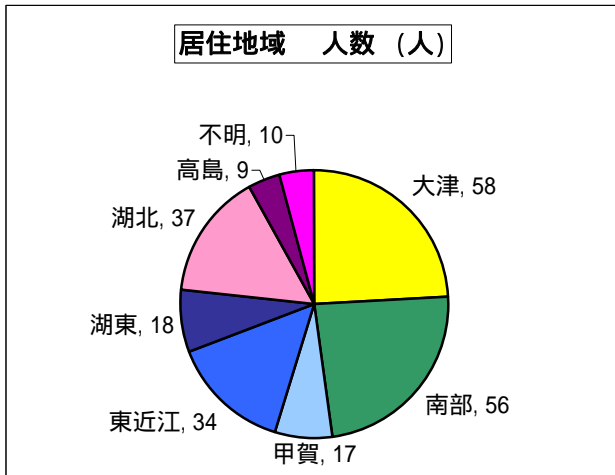


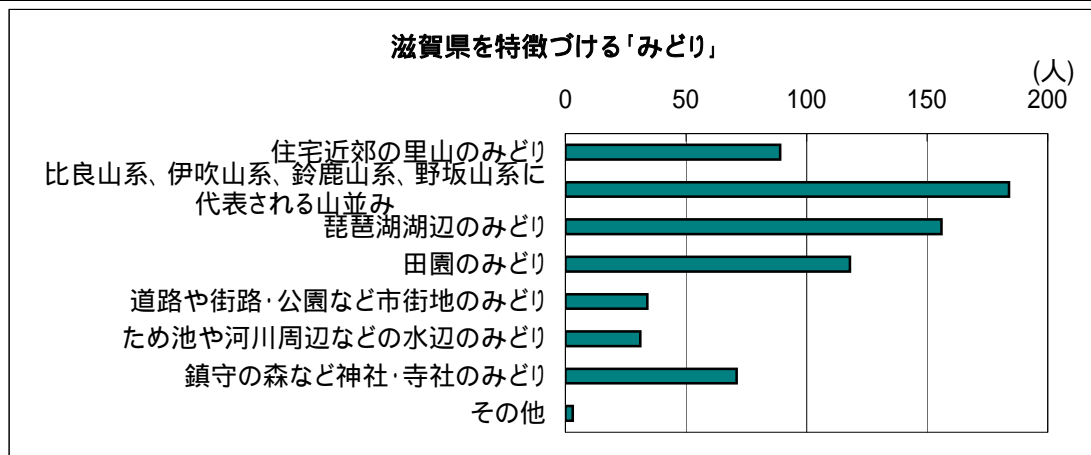
「みどり」に関する意識アンケートの集計結果

調査時期 平成19年6月
 対象者 県政モニター
 回答数 239名 (回収率 80%)
 担当課 琵琶湖環境部 森林政策課
 調査目的 滋賀県緑化基本構想および緑化基本計画では「自然と共生し、循環型の暮らしを育む淡海みどり文化の創造」を基本理念として、湖国の豊かな自然と環境を守り、先人の知恵に学びながら、みどりのとの関わりを日常生活を通して深めることをめざしています。今後の県の「みどり」づくりの基礎資料とするため、今回アンケート調査を実施しました。



問1 滋賀県を特徴づける「みどり」は何だと思われますか。(は3つまで)

番号	項目	人数(人)	割合
1	住宅近郊の里山のみどり	89	37%
2	比良山系、伊吹山系、鈴鹿山系、野坂山系に代表される山並み	184	77%
3	琵琶湖湖辺のみどり	156	65%
4	田園のみどり	118	49%
5	道路や街路・公園など市街地のみどり	34	14%
6	ため池や河川周辺などの水辺のみどり	31	13%
7	鎮守の森など神社・寺社のみどり	71	30%
8	その他	3	1%

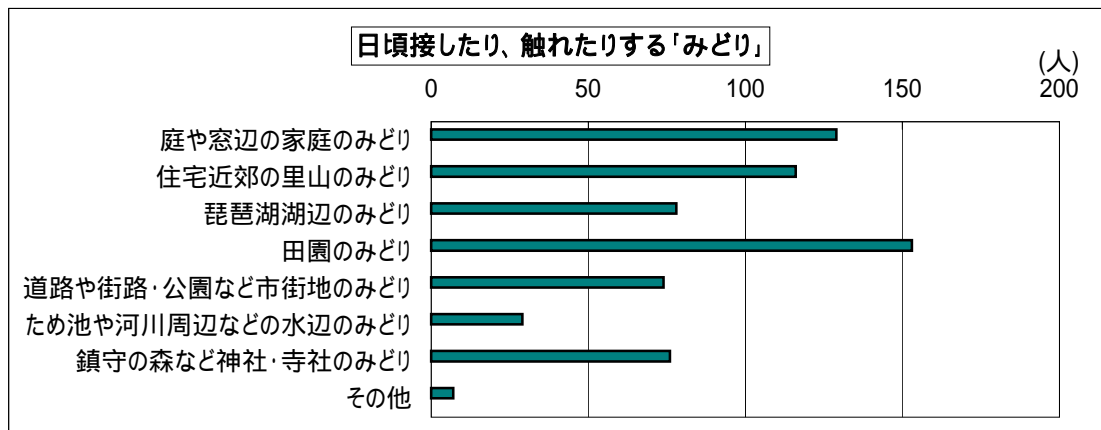


8その他 記述意見 琵琶湖に映える山々と空のみどり
 琵琶湖を囲む周辺の山、森、公園、地域によってそれぞれ違うけれど、全て滋賀のみどり
 県内各スポット(希望ヶ丘文化公園 湖南)(大津 県立文化ゾーン 湖南)
 (マキノ メタセコイア並木 湖西)(湖東三山 湖東)

問2 あなたが、お住まいの地域で日頃接したり目に触れたりする「みどり」はどのような「みどり」ですか。(は3つまで)

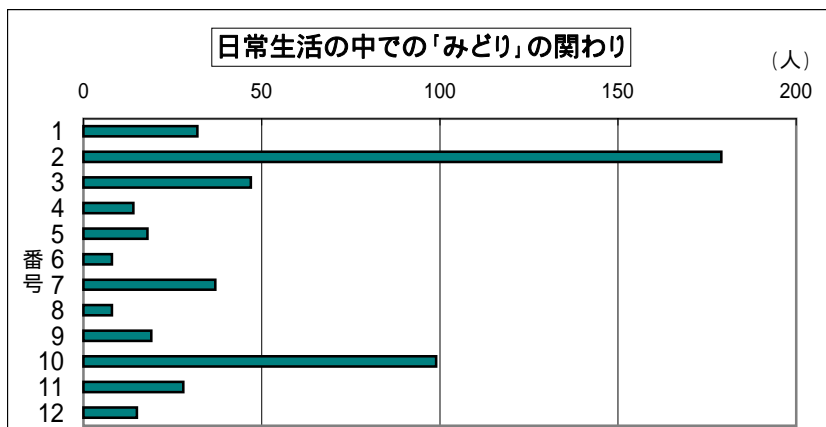
番号	項目	人数 (人)	割合
1	庭や窓辺の家庭のみどり	129	54%
2	住宅近郊の里山のみどり	116	49%
3	琵琶湖湖辺のみどり	78	33%
4	田園のみどり	153	64%
5	道路や街路・公園など市街地のみどり	74	31%
6	ため池や河川周辺などの水辺のみどり	29	12%
7	鎮守の森など神社・寺社のみどり	76	32%
8	その他	7	3%

8その他 記述意見 山のみどり、工場のみどり、学校、自宅



問3 あなたは現在、日常生活の中で、「みどり」とどのような関わりをもっていますか。(はいくつでも)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	農林業に携わっている	32	13%
2	家庭菜園やガーデニングをしている	179	75%
3	地域のみどりづくりや管理などの活動に参加している	47	20%
4	PTA活動等を通じて、学校内の緑化に参加している	14	6%
5	里山の保全や森林ボランティア活動に参加している	18	8%
6	棚田づくりなど、農業の関わるボランティア活動に参加している	8	3%
7	みどりに関わるイベントや催し物によく参加している	37	15%
8	県や市町が設置する委員会・審議会などへの参画を通じて、緑化施策に提言をしている	8	3%
9	職場の敷地の緑化や、職場を通して地域のみどりづくりに参加している。	19	8%
10	緑の募金への協力	99	41%
11	地域の祭り等で伝統を継承するうえで、樹木や草花を利用している	28	12%
12	その他	15	6%

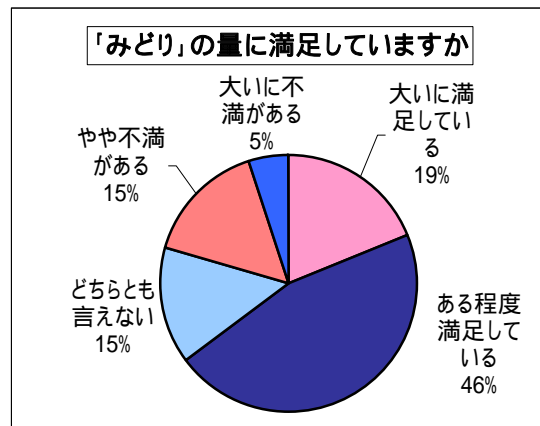


12 その他 記述意見

- ・所有山林の手入れ
- ・散歩や登山
- ・地域の子供達への野菜作りの市道
- ・自宅のみどり
- ・子ども向けイベントの実施
- ・何もしていない 等

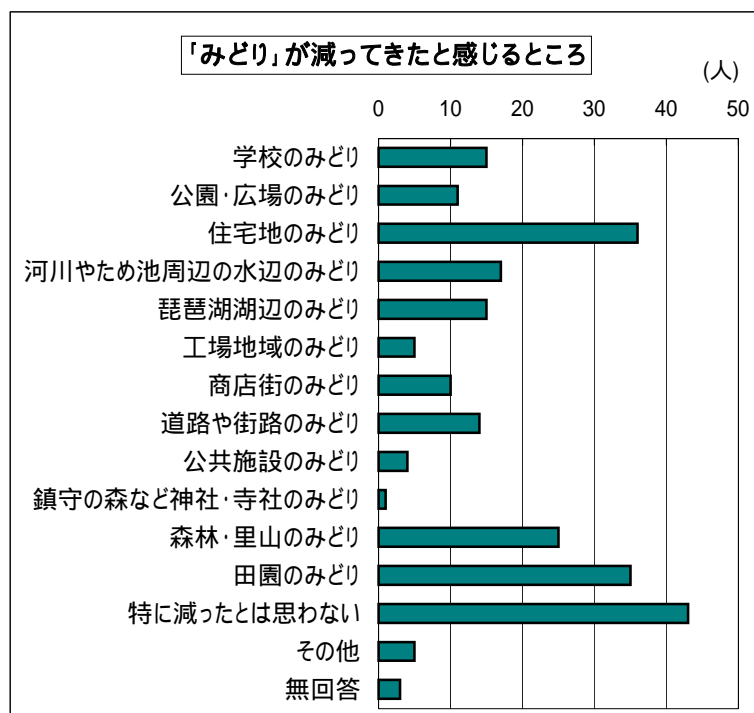
問4 あなたは、お住まいの周辺の「みどり」の量に満足していますか。(は1つだけ)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	大いに満足している	45	19%
2	ある程度満足している	110	46%
3	どちらとも言えない	35	15%
4	やや不満がある	37	15%
5	大いに不満がある	12	5%
	合計	239	100%



問5 あなたのお住まいの周辺で、「みどり」が減ってきたと感じるところがありますか。(は1つだけ)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	学校のみどり	15	6%
2	公園・広場のみどり	11	5%
3	住宅地のみどり	36	15%
4	河川やため池周辺の水辺のみどり	17	7%
5	琵琶湖湖辺のみどり	15	6%
6	工場地域のみどり	5	2%
7	商店街のみどり	10	4%
8	道路や街路のみどり	14	6%
9	公共施設のみどり	4	2%
10	鎮守の森など神社・寺社のみどり	1	0%
11	森林・里山のみどり	25	10%
12	田園のみどり	35	15%
13	特に減ったとは思わない	43	18%
14	その他	5	2%
	無回答	3	1%
	合計	239	100%

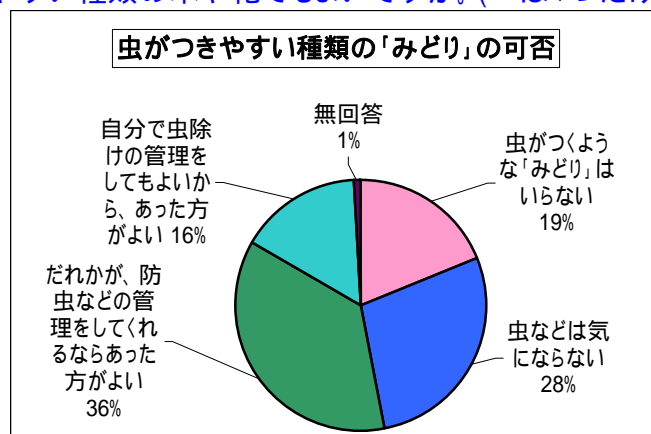


14 その他 記述意見

- ・整備されない田畑、森林
- ・マツクイムシの被害を受けた森林
- ・住宅開発により田が減るスピードが急 等

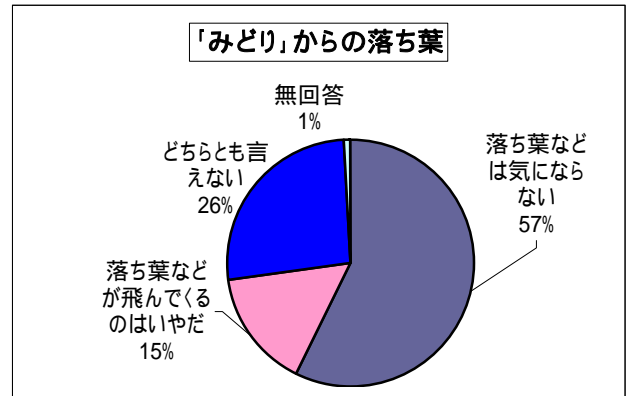
問6 あなたは、お住まいの周辺の「みどり」が虫がつきやすい種類の木や花でもよいですか。(は1つだけ)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	虫がつくような「みどり」はいい	45	19%
2	虫などは気にならない	67	28%
3	だれかが、防虫などの管理をしてくれるならあった方がよい	87	36%
4	自分で虫除けの管理をしてもよいから、あった方がよい	38	16%
	無回答	2	1%
	合計	239	100%



問7 あなたは、お住まいの周辺の「みどり」から落ち葉などが飛んできてくることは気になりますか。(は1つだけ)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	落ち葉などは気にならない	137	57%
2	落ち葉などが飛んできてくるのはいやだ	37	15%
3	どちらとも言えない	63	26%
	無回答	2	1%
		239	100%

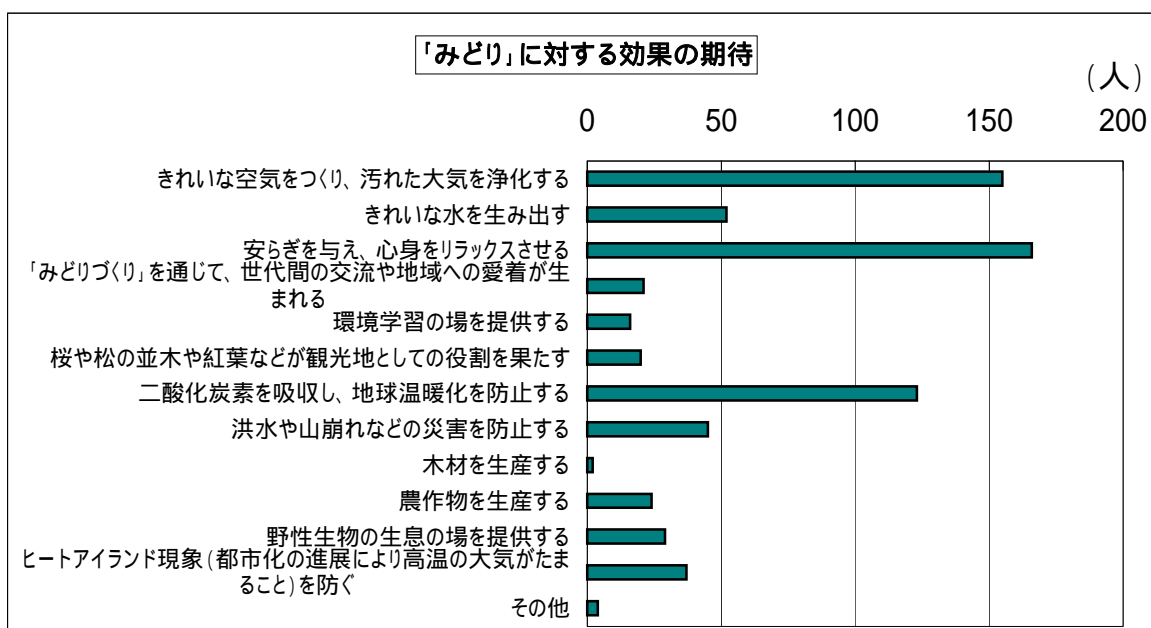


問8 身近な「みどり」に対して、あなたはどのような効果を期待していますか。(は3つまで)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	きれいな空気をつくり、汚れた大気を浄化する	155	65%
2	きれいな水を生み出す	52	22%
3	安らぎを与え、心身をリラックスさせる	166	69%
4	「みどりづくり」を通じて、世代間の交流や地域への愛着が生まれる	21	9%
5	環境学習の場を提供する	16	7%
6	桜や松の並木や紅葉などが観光地としての役割を果たす	20	8%
7	二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する	123	51%
8	洪水や山崩れなどの災害を防止する	45	19%
9	木材を生産する	2	1%
10	農作物を生産する	24	10%
11	野生生物の生息の場を提供する	29	12%
12	ヒートアイランド現象(都市化の進展により高温の大気がたまること)を防ぐ	37	15%
13	その他	4	2%

13 その他 記述意見

- ・心を穏やかに、子供の目にうれしい効果
- ・循環型社会の一翼を担う(二酸化炭素や生活排水を浄化し、バイオマスエネルギーとして利用でき、花実葉は、食用・薬用になる)
- ・日本人が大切にしてきた季節を感じる。夏に木陰で暑さをしのぎ、自然の良さを感じる。

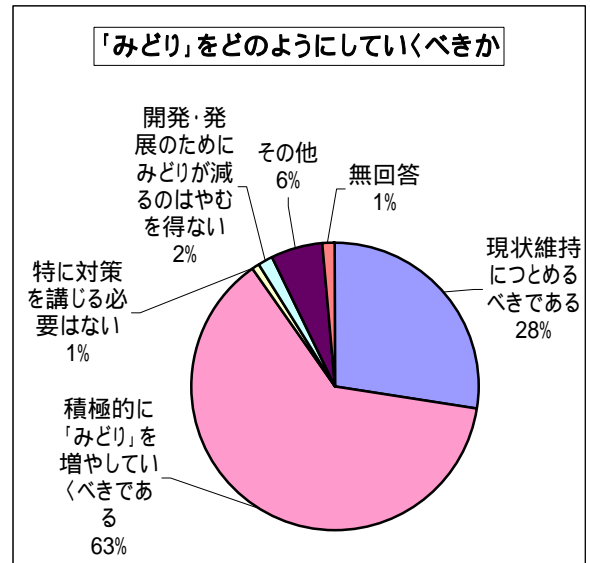


問9 今後、滋賀県の「みどり」をどのようにしていくべきだと思いますか。(は1つだけ)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	現状維持につとめるべきである	66	28%
2	積極的に「みどり」を増やしていくべきである	150	63%
3	特に対策を講じる必要はない	2	1%
4	開発・発展のためにみどりが減るのはやむを得ない	4	2%
5	その他	14	6%
	無回答	3	1%
	合計	239	100%

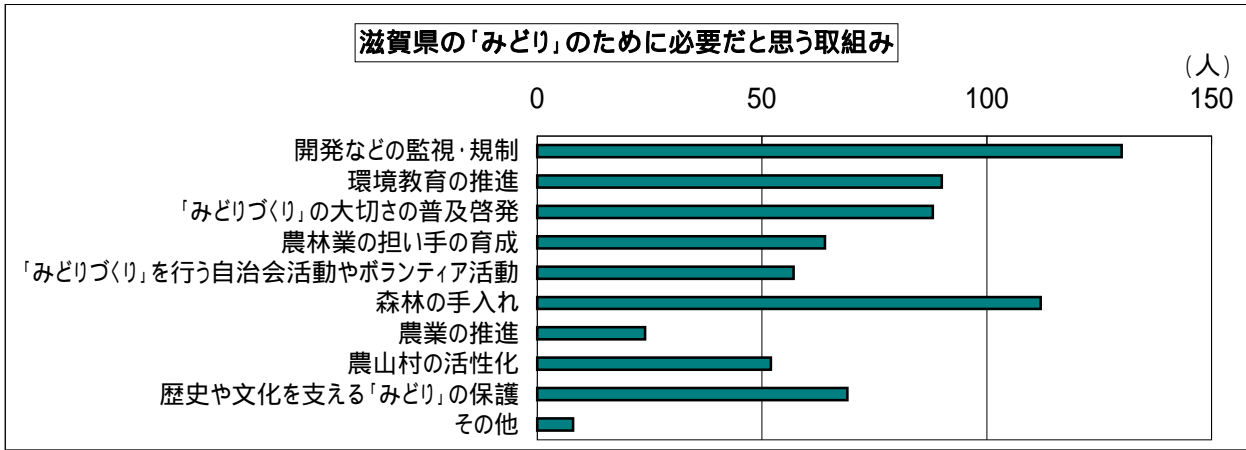
5その他 記述意見

- ・森林を守って欲しい
- ・現状でも緑が多いので積極的にどんどん増やすまでのではない。もちろん減少は困るが、徐々に増やしていけばよいと思う。
- ・放置林(里山)への対策
- ・みどりを増やすことでダムの建設が必要でなくなったり、洪水が予防できたりする場所に増やすなど、それぞれの場に応じた対策が必要であると思う。
- ・大木になりすぎないように手入れをして欲しい。
- ・現状調査を行い、みどりの多いところは現状維持、少ないところは「みどり」増加を奨励する。
- ・増えることはよいことですが、税をつぎ込んで増やすことにより、現在のみどりを次世代まで継いでいける方策が必要だと思います。
- ・これ以上みどりを壊さない。すぐに止める。・緑を減らさない。例えばゴルフ場のための開発等。
- ・自然のみどり以外の街路樹とかは、もっと多い方が美しい。
- ・開発・発展と自然環境(みどり)保全との調和を図り、都市空間と自然空間の共生、両立した都市計画を望む。



問10 今後、滋賀県の「みどり」のためにどのような取り組みが必要だと思われますか。(は3つまで)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	開発などの監視・規制	130	54%
2	環境教育の推進	90	38%
3	「みどりづくり」の大切さの普及啓発	88	37%
4	農林業の担い手の育成	64	27%
5	「みどりづくり」を行う自治会活動やボランティア活動	57	24%
6	森林の手入れ	112	47%
7	農業の推進	24	10%
8	農山村の活性化	52	22%
9	歴史や文化を支える「みどり」の保護	69	29%
10	その他	8	3%

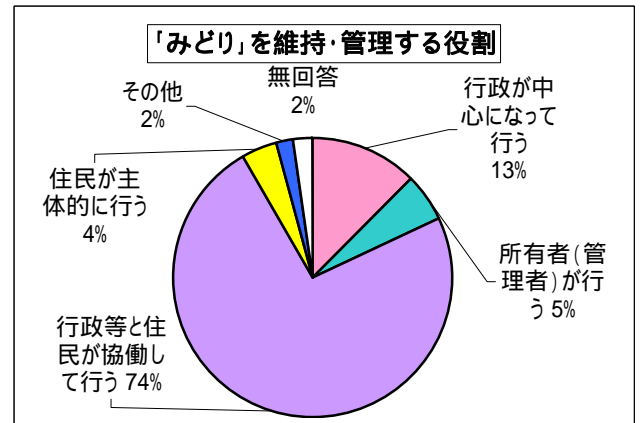


10 その他 記述意見

- ・観光地を増やすのなら「みどり」を増やすのは賛成
- ・行政が計画的に行うもの
- ・桜並木を増やす
- ・枯れた赤松の除去、マシノザイセンチュウ(?)を運ぶカミキリムシの殲滅。不要となった(もったいない)緑の有効活用。みどりバンクを各地につくるなど。
- ・道路、河川、公共施設のグリーンベルト化
- ・開発の中に「みどり」への取り組みを含める。緑化を入れる。
- ・開発・発展と自然環境(みどり)保全との調和を図り、都市空間と自然空間の共生、両立した都市計画の推進

問11 あなたは滋賀県の「みどり」を維持・管理する役割についてどのように思われますか。(は1つだけ)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	行政が中心になって行う	30	13%
2	所有者(管理者)が行う	13	5%
3	行政等と住民が協働して行う	176	74%
4	住民が主体的に行う	10	4%
5	その他	5	2%
	無回答	5	2%
	合計	239	100%

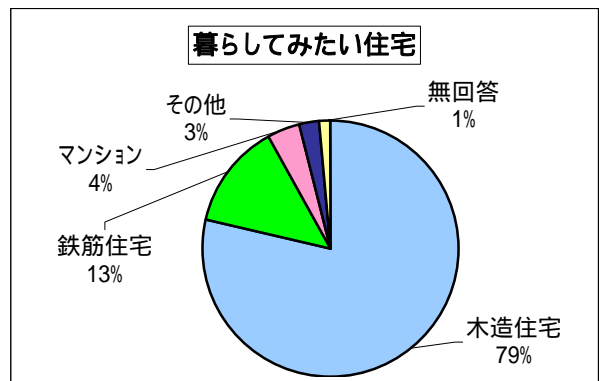


5 その他 記述意見

- ・観光地は行政、個人所有の面倒まで見る必要はない。
- ・行政と所有者が協力して行う。
- ・それぞれが主体的に行う。それぞれが行うようにするために、行政が普及活動を行い、教育では子供に「みどり」を伝える
- ・「みどり」の対象物により違うので所有者や住民で行い、最終的には行政と住民の協働で行うものだと思う。
- ・行政、市民、所有者の協働

問12 あなたは、どのような住宅で暮らしたいですか。(は1つだけ)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	木造住宅	188	79%
2	鉄筋住宅	32	13%
3	マンション	10	4%
4	その他	6	3%
	無回答	3	1%
	合計	239	100%

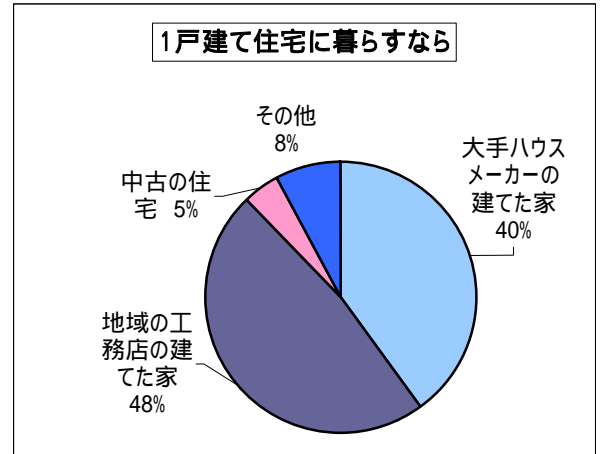


4 その他 記述意見

- ・こだわりはない
- ・軽量鉄骨住宅
- ・現在の住居
- ・半分は鉄筋コンクリートで、半分は木造家屋
- ・柱 = 鉄骨・外壁 = コンクリート・内装 = 木材

問13 1戸建て住宅で暮らす場合、どのような家を選びたいと思われませんか。(は1つだけ)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	大手ハウスメーカーの建てた家	89	40%
2	地域の工務店の建てた家	106	48%
3	中古の住宅	10	5%
4	その他	17	8%
	合計	222	100%

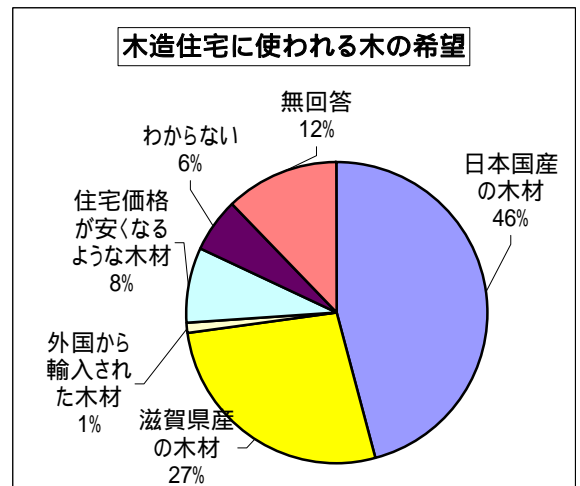


4その他 記述意見

- ・予算による
- ・古い自宅(木造)をリフォーム(杉板壁、フローリング等)して住み続ける
- ・“大工さん”の家 ・ログハウス
- ・木の特性を活かした住宅。(メーカーとか工務店に関係なく)
- ・自分の希望や考えを聞き適切なアドバイスを与えたり、実現した家を作ってくれたり、価格や品質、アフターケアに信頼がおけるなら、大手・地域工務店を問わない。
- ・大手業者施行で、滋賀県産材の使用住宅
- ・ が望ましいが、工事期間が長く、接待等大変です。
- ・お金に制限がないのなら環境に良い家に住んでみたい。
- ・信頼できるなら1,2のどちらでも良い。(一般的に1の方が安心と思ってしまうのでは。)
- ・地元住宅者別注 ・どれもよい 等

問14 木造住宅に使われる木はどのような木を望まれますか。(は1つだけ)
(問12で1を選んだ方)

番号	項目	人数 (人)	割合
1	日本国産の木材	86	46%
2	滋賀県産の木材	51	27%
3	外国から輸入された木材	2	1%
4	住宅価格が安くなるような木材	15	8%
5	わからない	11	6%
	無回答	23	12%
	合計	188	100%



問15 自由記述 (主な意見)

情報公開・広報について

- ・緑の地域の取り組みにPRするべき。地域の活動の励みになる。
- ・ボランティア活動について広報をもっと行えば、参加する人が増えるのではないか。
- ・滋賀プラスワンなどを用いた広報活動を積極的に行い、活動等の情報が得られるようにする工夫が必要。
- ・「みどり」が一体何をさすのか、行政としてどれほど税金をかけ、何の目的で行っているか周知すべき。
- ・「緑化基本計画」の効果はどこにあらわれているのかわからない。募金や税金がどこでどのようにつかわれているかもわからない。

山・森林のみどりについて

- ・森林の管理に森林税は必要不可欠である。無駄なく投資するよう十分考えてほしい。
- ・里山の原風景の大部分は山林所有者によって支えられているが、収入がなく、手放したいと思う人が多い。この状況は行政が打破するしかない。
- ・山の手入れもすすめ、間伐材の利用も進めてほしい。
- ・森林税があるだけに、県はまず、山林所有者に森林整備の義務を課し、そのための助成を行い、それができない場合には、県が中心となって整備を進めるべき。
- ・税金、募金を活用し、休日には山・森林へ向かうシステムを創造したい。
- ・荒れた里山の整備を行うべきである。
- ・獣害が多く、ともに生きていくための対策が必要。

街のみどりについて

- ・自宅の近くの公園に桜があるが、虫が多く、困っている。「みどり」は遠くから見れば良いものだが、虫、落ち葉等困った点も多い。住宅と隣接した公園などでは、住宅に迷惑がかからないようにしてほしい。
- ・住宅地や街路樹など市街地のみどりがすくない。新興住宅地の造成には植栽を義務づけてはどうか。
- ・開発が進み、景観がよくない。並木道がほしい。
- ・子供たちが「木登り」ができる木を公園に。
- ・街路樹などの適切な維持管理をしていくことが大切である。
- ・分離帯などのみどりが雑草やごみで見苦しい。

田畑のみどりについて

- ・グリーンツーリズムのように農業と老人と都会人の関わりを考えていくことを提案したい。
- ・農地を守るためにも後継者育成が必要。
- ・開発により市街地の水田がどんどんとなくなっている。ある程度の規制も必要ではないか。

教育

- ・学校教育の中で、植林作業を実施するようにすればどうか。
- ・子供たちに環境教育を行うべき。
- ・幼いときから「みどりの大切さ」を学校等で学ぶべき。

維持・管理、環境全般

- ・山や、街、いろいろなところでのゴミの不法投棄が問題。
- ・ヨシ葺きの家は住みやすい。先人の暮らしの知恵に学び、琵琶湖を守る県としてもヨシの用途を一考すべきではないか。
- ・一人ひとりが「みどりづくり」に関心を抱き、ハード面、ソフト面で協力と努力をすべき。
- ・観光スポットや都市部にみどりを増やすことはよいが、森林維持にはお金を払う必要はない。
- ・手入れができないところにみどりを増やしてほしくない。
- ・新しく作る前に今あるみどりの環境整備・管理をしたのち、必要なところを整備するべき。
- ・緑化推進は地域の人たちと協力し合い、まちづくりの中で進めていくことが大事。
- ・自治体などで公園などを作るのであれば、「作りっぱなし」になってはいけない。

滋賀のみどり

- ・びわ湖に映える緑を残すことが必要
- ・みどりを守り、びわ湖が美しくあるよう願う。
- ・滋賀県は他県に比べるとみどりが多い県である。そのみどりを大切にすべき。
- ・滋賀県は他県に比べるとみどりが多い県なので、大金をかけてみどりを増やす必要もないのでは？現状を維持することが基本であると思う。